



独立行政法人国立病院機構 新潟病院 ● 広報誌



にいがた

No. 08

2019. 1. 1

独立行政法人国立病院機構新潟病院 発行責任者／中島 孝

〒945-8585 新潟県柏崎市赤坂町 3 番 52 号 TEL 0257-22-2125 FAX 0257-24-9812

URL <https://niigata.hosp.go.jp/>

年齢や疾患を超えて幸せを育む医療を目指す こどもとおとなのための医療センター

当院の周囲数キロメートルには、自らの心を深めた偉人である良寛、日蓮、親鸞がすごした場所があります。哲学者の梅原猛によれば、この地域は日本の霊性の目覚めの場所です。ここで地域医療、セーフティネット医療、教育・研修事業を行えることは当院の誇りでもあります。

自らが行っていることを振り返り、見つめ直すことは重要です。私達「こどもとおとなのための医療センター」が歴史的に引き継いできたこととは何でしょうか。私達は、今までどんな病気や障害があっても、たとえ病気が治らなくても、多専門職種によるチーム医療と教育（療育）の力で、適切な医療と生活支援さえ行えば、年齢に関わらず、人はその生を肯定的にとらえていきいきと幸せになれるという考えを礎にして事業を行ってきたのではと思います。

難病や障害児（者）の医療を行っている私達は、直らない病気の医療は無駄ではないかという問いに対して、人は生まれると最終的に100%の人が治らない病態になり、100%死ぬ運命にあるので、治る・治らないは問題にはならず、その時々適切なケアで症状を安定させ、改善さえすればよいので無駄ではないと答えます。どんな重篤でも子（人）は、年齢に関わらず適切なケアで変化し、一生涯にわたって成長発達し、主体的に適応でき、どんな時にも幸せになれるはずと答えています。

このようなケア体系を医療事業として確立するためには、病院の周りに高い壁を作り、実施するのではなく、開かれた場所とし



院長 中島 孝

て、患者の目線を通して私達の医療と教育・研修・研究事業を科学的に進化させ実践していく必要があります。これを2020年に新潟で開催される国立病院総合医学会を契機に促進し、全国に広めていけないものかと思っています。そのためには、病院の組織運営の中でこの概念を真に実践し、確立していく必要があります。年齢、疾患、障害に関わらず、患者・ご家族を支えるためには、基盤となる科学を発展させるだけでなく、人と人とのコミュニケーションを深め、運営方法や経営基盤を進化発展させていく必要があります。これを全職員の研鑽と努力で達成したいと思います。





新年を迎えて

副院長 小澤 哲夫

皆様、明けましておめでとうございます。昨年1年間はありがとうございました。今年も健康に留意しながら、昨年以上に新潟病院の医療の質を向上し、医療の安全を確保してまいります。

さて、今年5月1日に新天皇が即位され、平成が終わります。私にとってこの30年間で最も印象深いことはパソコンの飛躍的性能向上、通信インフラの整備とインターネットの普及、そしてスマートフォンの出現により世界中の市民生活に革命的变化が起きたことです。

今の若者には当然のことに思えるかもしれませんが、これらは全て平成の時代になって普及したものです。さらに、近年はビッグデータの利用が加速しています。クラウドに対する信頼性も高まり医療以外の分野では個人情報を含めビッグデータをクラウド上に保存・管理して共同利用する動きが進んでいます。



第72回総合医学会

日本では医療施設間で患者さんの情報がほとんど共有化されていないことから検査費用、薬剤費用を含めて膨大な「無駄」が生じていると考えられます。今こそ私たちも医療情報を適切に共有して効率的で質の高い医療を提供できる体制を構築する時ではないでしょうか。最後になりますが、2020年10月に第74回国立病院総合医学会が当院の中島孝院長を会長として新潟市で開催されます。本学会は先端医療だけではなく、地域医療、行政との連携、倫理などを幅広く学ぶことができる素晴らしい学会です。まもなく準備作業が本格化しますが皆様のご協力をお願いいたします。



地域の皆様とともに

療育指導室長 石井 忠雄



当院では毎年地域の皆様のご協力を頂きながら、入院患者さんの生活支援や催し物、一般の方が参加できる研修会などを実施しております。これらが昨年度も継続的に実施できたのも地域の皆様のお力添えがあり、毎年継続ができるものと感じております。どのようなご協力を頂いているのか、いくつかご紹介したいと思います。まずは、入院患者さんの生活支援に欠かせないのがボランティア活動です。ボランティア活動の内容は多種にわたります。入院患者さんとの外出支援、音楽活動支援、生け花等のサークル活動支援、ベッドサイドにおける話し相手、ボランティアさんにおけるコンサート(主なコンサート内容はピアノ ヴァイオリン 落語等)など、入院患者さんの日中活動にご支援を頂いております。当院では、ご尽力を頂いているボランティアの方々が、約60名います。毎年ボランティアの皆様へ、感謝の気持ちを伝えたく、ボランティア感謝の集いという式典を秋(2018年は10月に実施)に行っております。式典の内容は、ボランティア活動をされている方からの講話、入院患者さんからのお話、最後には毎年恒例になりましたクラシックコンサートをみんなで聞き、優雅な時間を皆さんで過ごします。今後も地域の皆様の得意な分野に関することで構いませんので、ボランティアを募集しています。

また、研修会では毎年筋疾患等に関する難病の研修会、摂食嚥下機能向上に関する研修等行っております。地域住民の方や関係者の方々が参加されています。このように、地域とたくさん交流を持ち、今年も地域に開かれた国立病院機構新潟病院を目指しております。本年もよろしくお願い申し上げます。

療養介護



指定通所支援事業所 「たんぽぽ」





看護部紹介

看護部長 霜田 ゆきえ

新潟病院には新潟県内外からたくさんの方々に利用いただいております。病棟は平成 26 年 7 月から新棟「こどもとおとなのための医療センター」へ移転し快適な入院生活を過ごしていただけるよう環境を整えています。

新年を迎え今年の看護部の取り組みを二つ紹介いたします。

一つは入院前のご自宅から退院後まで切れ目のない支援体制の構築です。訪問看護や入退院支援等がそれに当たります。昨年も少しずつは行ってまいりましたが、今年は地域のより多くの皆様のご自宅まで看護師が訪問して支援を行って参ります。入院前より退院後の生活をふまえ患者ご家族の方々のお話を伺いながら、早い段階より支援を開始できるように進めて参ります。在宅看護でお困りの方は是非ご相談ください。

一つは看護師の専門教育の充実です。新潟病院には障害を持つ方々が長期間入院生活を送っていらっしゃいます。個々の患者様にあった援助を行うに当たり、より高度な知識・技術の習得が必要です。毎年 20 人以上の新人看護師が入職してきますので効率よく学べるように毎年教育計画を修正しています。昨年からラダーシステムを導入し、個々の看護師にあった進捗状況で学べるシステムにしました。さらに、より専門性の高い内容を研修できるように検討しております。また、地域で従事している医療者の方々も参加できる研修につきまちは今後も発信していきますのでご参加ください。本年は職員一同一丸となりサービス向上に尽力して参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。



病児保育室

ミニハウス



リハビリ



2019 年度
「新潟病院 訪問看護ステーション」開設予定

国立病院機構新潟病院附属看護学校

1 学年 40 名定員で指導を行っています。
また、国立病院機構新潟病院に隣接しており、常に医療現場のそばで学習できます。
詳しくはホームページをご覧ください。



あこがれじゃない
看護への「本気」



URL <https://niigata.hosp.go.jp/school/index.html>

独立行政法人
国立病院機構

新潟病院の基本理念



私たちは、誠意と思いやりと笑顔で
患者さまに満足していただける
医療サービスを提供します。



独立行政法人国立病院機構新潟病院
〒945-8585 新潟県柏崎市赤坂町 3-52
TEL : 0257-22-2126 FAX: 0257-24-9812
ホームページ : <https://niigata.hosp.go.jp/>
交通 : 柏崎駅よりバス 新潟病院下車 (約 10 分)
車 : 柏崎 IC より 20 分 米山 IC より 10 分



医療法病床数	350 床 (6 ヶ病棟)	
一般病床		118 床
重症心身障害児 (者)		116 床 (post-NICU 8 床)
筋ジストロフィー・ALS 等		116 床
病床機能別	急性期一般入院基本料 1	58 床
	障害者施設等入院基本料 1 7 対 1	292 床
診療科目	内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科 リウマチ科、精神科、心療内科、放射線科 リハビリテーション科、歯科	

コラム～新年を迎えて～

臨床研究部長 藤中 秀彦

「患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供すること」とともに「質の高い臨床研究」は国立病院機構の理念に謳われています。
多忙な日常診療のなかで研究は後回しにされがちですが、研究的視点を欠いては診療の質を高めていくことはできないと考えています。新潟病院スタッフは医師に限らず、純粋な研究意欲の高い方が多いです。その意欲の芽を摘むことなく、成果をまとめるお手伝いをさせていただきたいと思っています。